

大和長岡店閉店後の空き店舗活用について

I 4月25日閉店後の大和側の店舗利用等について

- ・6月末まで、1階部分に残務整理のための事務スペースを設け、そこで顧客対応等についても実施する。したがって、店舗の借用が可能となるのは7月以降となる。
- ・3箇所のショーウィンドーのうち、北銀側の1箇所についてはカーネーション会員への告知用として6月末まで使用を継続するため、それまでは2箇所のみ借用可能。
- ・6月末をもって完全撤退となり、その後は常駐の管理は行なわれない。

II 前回会議における設備等に関する課題について

1 1階フロアのトイレの設置について

- ・1階にトイレを設置することは構造的にみても可能である。ただし、設置工事に2月程度の期間が必要となる。(工事費：約1,000万円)

2 空調システムについて

- ・現在の複数階の一体型の空調システムを、1階のみ、または1階2階のみが稼動するように改修することは、システムの構造上困難である。
- ・ワンフロアごとの空調ユニットを新たに設置した方が、ランニングコストの面で大きな軽減が図れる。(大和長岡店の年間電気料：約2,400万円)
- ・既存のシステムを使用した場合、重油ボイラーやクーリングタワーなどのメンテナンスが必要となり、技術員の常駐や定期点検、オーバーホールなどの負担が大きい。
- ・空調ユニットの設置工事には1月程度の期間が必要となる。(工事費：約1,000万円/階)

3 給排水について

- ・フロアに給湯等の設備がないため、使用階には給排水設備を設置する必要がある。
- ・排水については、地下階を使用しなければ汚水槽も必要なく、清掃等が不要となる。

4 エレベーター、エスカレーターについて

- ・使用を1階フロアに限定するなど、エレベーターやエスカレーターを使用しない場合は、エレベーターの保守・点検費用が不要となり、大幅な経費削減が可能となる。(メンテナンス費用：エレベーター、エスカレーターそれぞれ約180万円/年)

5 消防関係について

- ・1階及び2階の利用については、消防面からの特に大きな改修は不要である。
- ・3階以上を収容人数50人以上の集会場等に使用する場合は、避難器具や非常階段等の整備が必要となる。

III 具体的な利用案について

1 空き店舗利用の基本的な考え方

- ・大和長岡店の完全撤退後、できる限りすみやかに空き店舗の借用を行い、仮囲い等が生じないようにする。
- ・暫定的、短期的な利用であり、イニシャルコスト及びランニングコストについては必要最小限に抑える。
- ・運営主体については、中心市街地で活動する団体等の民間に委ね、市は店舗の借用をはじめ運営に関する必要な支援を行う。

2 具体的な利用案について（検討事項）

(1) 空き店舗について

- ①借用開始時期 …… 7月上旬（大和撤退後すみやかに）
- ②施設オープン時期 …… 7月中旬～9月上旬（改修工事の状況による）
- ③運営主体
- ④利用フロア
 - ・当面はイニシャルコスト及びランニングコストを考慮し、1階のみとしたい。
 - ・2階以上の利用についてはオープン後の利用実態を踏まえ、検討していく。
- ⑤主な利用形態
 - ・市民団体等の作品展示スペース
 - ・物販や講演会、休憩スペースなど多目的に使用できるユーティリティスペース
 - ・管理スペース など

(2) ショーウィンドーの利用について（施設オープンまでの期間の暫定利用）

- ①借用開始時期 …… 4月26日（閉店後直ちに）
- ②利用主体 …… 大手通商店街振興組合